



ひびき

2019年 8月10日発行 8月号 No. 294

◇『【共生】～私たちはひとりじゃない～』

(一社) 日本自動車販売協会連合会東京都支部

東京自動車販売協会

専務理事 高橋 哲哉 氏



ロジ研の皆様！ご無沙汰しております。

平成27年4月から平成28年3月までの一年間ですが、東京運輸支局に勤めておりました高橋哲哉でございます。

東京運輸支局在職中は、皆様方の並々ならぬご厚情を賜り、誠にありがとうございました。改めてここに御礼申し上げます。現在は、一般社団法人日本自動車販売協会連合会東京都支部において、自動車販売促進の支援をはじめ自動車業界の責務でもある環境負荷の軽減、交通安全に対する啓発活動等の業務に従事させていただいており、自動車販売業界の健全な発展に向けて、微力ながら頑張っております。

こうして未だに、自動車業界に身を置けることで、ロジ研の皆様方とも、何処かでつながっているような気がしており、引き続きのご指導・ご鞭撻を切にお願いしたいと思っております。

さて、過日、作家の五木寛之氏の講演を聞く機会があり、非常に興味深いお話を聞いてまいりましたので、その一端をご紹介したいと思ひ、ひびきに寄稿させていただくことと致しました。

皆様方もよく「孤独」という言葉を耳にしているかと思いますが、孤独という言葉調べてみますと、仲間や身寄りがなくひとりぼっちの様と辞書には書いてあります。この意味を踏まえて、五木先生の言葉をお借りするならば、孤独とは皆でいる中のひとりであって、皆と交わりながら個として存在しているものである。つまり、皆と交わることについては、何ら問題はないが、和して同ぜずであり、個性は失わないということでもあります。

一方、似たような言葉で「孤立」という言葉があります。これは、一人だけ他から離れ、つながりや助けのないこと、また対立するものすらないことであると記されており、自身の意見しかなく、すべてのものに対して無縁となってしまうことである、ということなのだと思ひさせていただきました。

私たちが日々暮らしていく中で、大切なことは、他人との協調性を持ちつつも、自分自身を見失わず、和を以て貴しとなす！ということではないかと改めて思った次第であります。

このように改めて考えてみますと、私たちが当たり前に生活できているのは、物の生産者がいて、それを輸送する物流があり、それを消費する者が存在しているからであり、もし物流が滞ってしまったならば、食を摂ることすら出来ず、生命の危機があると言っても過言ではないと確信しております。

真に、トラック業界の果たす役割は、非常に重たくかつ非常に重要なことと思っております。私たちは決して個々で生きているわけではなく、時には誰かの力を借り、時には誰かを助け共に生きているものだと思っております。平成から令和に時代が変化しましたが、人を思う気持ちや感謝する気持ちは、どんなに時代が変わろうとも不変であるべきことであり、また変わってはいけないものだと思っております。

また人は、様々な人から自然と多くのことを学んでいるものです。最近では余り聞くことも少なくなりましたが、皆様方も、

ご両親や祖父母から「敷居は踏んではいけないよ。」と言われたことが記憶の片隅にあるのではないのでしょうか。これは、諸説ありますが、敷居は家主または親の顔なのだから、敷居を踏むという動作は、その家主の顔を踏むことになり、非常に無礼なことであると言われております。私は、幼少の頃に両親に言われて未だに、この事を自然と守っており、土地や家屋といった形のある相続ではありませんが、両親から頂いた大切な無形の相続だと思っております。

今の自分があるのも、ロジ研の皆様方からいただいた無形の相続という暖かい愛情があったからこそだと思っております。本当に感謝しております。これからも、この感謝の気持ちを大切に、いつの日か皆様とお逢いできる時を心待ちにしております。

結びに、ロジ研の益々のご発展とロジ研の皆様方のご多幸と事業のご隆盛を心から祈念し、筆を置くことといたします。

◇『暑中お見舞い申し上げます』

(一社) 東京都トラック協会

常務理事 並木 勝市



記録的に日照時間の短かった7月も終わり、ようやく夏らしくなりました。しばらくは蒸し暑い日々が続くかと思いますが、皆様のご健勝を祈念しております。

財務担当の常務理事の並木です。平成29年度には教育研修部を所管していましたが、当時を含め、平素からロジ研の皆様には大変お世話になっていること、紙面をお借りして御礼申し上げます。

さて、「自己紹介とロジ研への期待等」とのご依頼です。暑さボケの中、とりとめのない文章でお目汚しになりますが、ご容赦願います。

ご案内のとおり、元は都庁で長く役人生活を送り、その後商業ビルやオフィスビル等の不動産賃貸業を行っている会社での業務を経て、一昨年、当協会に参りました。

都庁では2年ぐらいで人事異動となりますが、在任中は、国内外での債券発行業務、都の長期計画や住宅マスタープランの策定、国際博覧会の財政運営や都立病院の経營業務、あるいは外務省に出向しての難民受入れや大使館での広報業務等、とりとめもなくいろいろな仕事に携わってきました。その度に、新たな人との出会いがあり社会が広がりました。今回も東京都では経験できない物流関係に携われ、新たな発見をさせていただいております。

現在、協会は、会員数の伸び悩み、交付金の減少傾向、トラック総合会館の老朽化対応等、財政的に様々な懸念を抱えています。一方、少子高齢化の進展や社会経済のグローバル化を踏まえ、働き方改革への対応など、取り組むべき課題もいろいろ変化しています。

協会として多様な発信をし、取捨選択の上、鋭意取り組んでいくことが求められているものと思っております。ロジ研の皆様のご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、今後とも皆様の活動がますます盛んとなり、協会が発展していくことを期待しております。

◇スケジュール《○ロジ研行事予定》

- 9/24 (火) 15:30～ 正副本部長会議 (東ト総合会館 6階研修室)
- " 16:30～ 本部連絡会 (東ト総合会館 6階研修室)